

クリーニング業における作業床、歩み板を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	労働者規模
7	14~15	当社工場内に於いて仕上げするためのカッターシャツの束を抱えて移動中、濡れた床で滑り体の右側から転倒し右手首を骨折負傷した。当初は痛いまま仕事を続けたが、翌日の日曜日になっても痛みが治まらなかった。	30 64～ 49
7	9～ 10	工場でアイロンがけ作業中、来客があり接客のために店に出ようとして歩いている時、左足をひねった。段差やつまずいたのではない。	10 46～ 29
9	14～ 15	配送車（2t）の荷台後方で、トラックから降りようとした時、荷台後方のステップに足を乗せて降りようとした、ステップに左足を乗せた時に滑ってしまい、滑下して右手首をついて骨接した。	30 47～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html